

## 保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。正常な使用状態において、万一故障した場合には、お買い上げ販売店に必ず本保証書を提示の上、修理を依頼してください。別掲の保証規定により無料で修理いたします。

※印欄に記入がない場合は、無効となりますので、お買い上げ時に必ず記入の有無をご確認ください。

商品名	GPS-34GT	
保証期間	※ お買い上げ年月日	1 年 間
	平成 年 月 日から	
※ お客様	住所 〒	様
	電話	
※ 販売店	店名	Ⓜ
	住所 〒	
	電話	

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 横浜市南区白妙町4丁目43番地4  
サービス部：TEL. 045 (251) 2687

 **MARUHAMA**

GPS&5ロケータ受信機能搭載  
レーダー探知機

# GPS-34GT

## 取扱説明書

〈保証書付〉

GPS-34GTをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
でございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり内容を十分理解された上でご使用くださるようお願いいたします。

また本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

### ご注意

ゴーストアラームカット機能は、お買い上げ時、OFFに設定してあります。

# 目次







1. 安全についてのお願いとご注意	1	<ゴースト・アラームカットの動作設定をします>	34
2. 製品の構成	3	<振動センサー感度を設定します>	36
3. 主な特長	4	<受信機能（レシーバー）の設定をします>	38
4. 各部の名称とはたらき	5	<カーロケーターの反応を抑えるには>	40
5. 取付方法	8	<警告音を変更したいとき>	42
6. 電源の接続・配線	9	<一般設定モードを全て初期状態にもどす>	44
7. 使用方法（基本操作編）		3. オリジナルポイント（ユーザー）設定モードの設定方法	45
1. 操作方法	10	<登録した内容を全てクリアしたいときは>	49
2. 通常動作モードの画面表示	11	<オリジナルポイント登録位置に接近すると>	51
3. レーダー波を受信すると	13	<ナビポイントの使い方>	52
4. オービス登録位置に接近すると	14	9. 使用上のご注意	53
5. その他の受信機能（レシーバー）	16	10. 故障とお考えになる前に	54
6. ゴースト・アラームカット機能	19	11. 主な仕様	55
7. オートミュート機能	19		
8. ミュート機能	19		
9. ラスト速度機能	19		
10. 警告音の優先順位	20		
8. 使用方法（設定モード編）			
1. 動作モード表と動作モード移行表	21		
2. 一般設定モードの設定方法			
<登録されているオービスを区別し警告をカットしたいとき>	23		
<登録オービスの反応距離を変更したいとき>	26		
<音量の調節>	28		
<レーダーの受信感度を設定します>	30		
<AAC（オートアラームカット）の反応速度を変更したいとき>	32		

# — 1. 安全についてのお願いとご注意 —

本機を安全にご使用いただくには、正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが必要です。本書では最初に、もしお守りいただかないと重大な人身事故につながるおそれのある事項を、“警告”として掲げています。次に、もしお守りいただかないと、使用者がけがをしたり、製品の故障や損傷につながるおそれがある事項を“注意”として掲げています。また、“機能上の制約”についても説明しています。





## ⚠ 警告

(人身の安全のためにお守りいただくこと)


-  ■**運転の妨げにならない場所に取り付けてください。**  
本機は、運転の妨げにならないように、フロントガラスに取り付けてください。  
また、取り付ける際に、本機が落下しないように十分ご注意ください。
-  ■**本機を濡らさないでください。**  
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。
-  ■**車を運転中に本機を操作しないでください。**  
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心掛けてください。
-  ■**ケースは絶対にあけないでください。**  
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■**スピードの出しすぎにご注意ください。**  
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心掛けてください。
-  ■**発熱、発臭、発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。**  
これらの異常を検出した場合には、直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。)そのまま使用しますと、火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼してください。お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。

## ⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■**衝撃や強い振動を加えないでください。**  
衝撃や強い振動を加えますと、精密部品が壊れ故障の原因になります。
-  ■**動作範囲内の温度条件下で使用ください。**  
本機は0℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外で使用になりますと故障の原因になります。
-  ■**高温時の取り扱いにご注意ください。**  
本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる際には、十分ご注意ください。
-  ■**ケースが汚れた場合は、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。**  
シンナー、ベンジン、化学雑巾などを使用しますと、ケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際はかならず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

## 機能上の制約

-  ■**日本国内で使用してください。**  
本機の仕様は日本国内向けとなっています。外国では電波方式が異なりますので、使用できません。
- GPS電波が受信できない場合はレシーバー／レーダー受信機のみ機能となります。**
- 周囲の環境により、レーダー及びGPSの電波が受信しにくい場合があります。**  
前方に走行中の車（とくに大型車）がいる場合や、カーブ、坂道などでは、電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは、とくに注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。**  
取締レーダー波以外にも、同じ種類の周波数を使用しているドップラ一式自動ドアおよび車両通過計測器、港湾、航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが、故障ではありません。

## 2. 製品の構成

お買い上げいただいたGPS-303は次の品目から構成されています。

- 本体 ..... 1台
- 取り付けステー ..... 1個
- 吸盤 ..... 3個
- カー電源コード ..... 1本
- コードクリップ ..... 5個
- 取扱説明書兼保証書（本紙） ..... 1冊

※本説明書を紛失、汚損された場合は、切手400円分を同封の上、弊社宛にご請求ください。

※別売のリピータアンテナについて

本製品を使用する際、天空が開いていないためGPS電波を受信できない車や、天空が開いていてもフロントガラス等に金属コーティング等の断熱ガラスを使用しているためGPS電波を受信しにくい車があります。このような場合は、別売のリピータアンテナをご使用していただくことにより、安定したGPS電波の受信が可能になります。尚、リピータアンテナのご購入に関しては弊社サービス部までお問い合わせください。

## 3. 主な特長

### ■日本国内オービス位置をメモリー（ボイス警告）

メモリーしてあるオービス位置に近づくとGPS電波による自車位置測定で音声と表示で警告。

### ■トラップゲート・モード搭載

専用アラームと表示で危険エリア（検問等）接近の可能性が高いことをお知らせします。事前に速度を落とし、追突事故等の発生を防ぎます。

### ■五つのロケーター・モード搭載（ボイス警告、接近／離反識別）

#### 〈カーロケーター・モード〉

緊急車両より発信されている電波を受信することにより、いち早く緊急車両に進路を譲り、安全な走行ができます。

#### 〈ヘリテレロケーター・モード〉

現在多発しているヘリコプターによる航空取り締まりに使用されている連絡無線を聞くことが可能です。

#### 〈デジタルロケーター・モード〉

警察デジタル無線を受信できます。

#### 〈ポリロケーター・モード〉

署活系警察無線を受信できます。

#### 〈エクセレントロケーター・モード〉

カーロケ／デジタル／ポリロケのトリプル受信で緊急車両の接近検知精度がさらに向上。

### ■ゴーストアラームカット機能搭載

GPS測位により、自動ドア等の不要レーダー波が出ているエリアを記憶し、アラームをカットします。

### ■ラスト速度機能

最後に通過した登録オービス手前200mの通過速度を表示できます。オービスを通過しない場合は最高速度が表示されます。

### ■取締機識別・設置道路識別機能（ボイス警告）

レーダー式、ループコイル式の取締機種別、その設置道路の種類（高速道、一般道路）を識別し音声と表示でお知らせします。

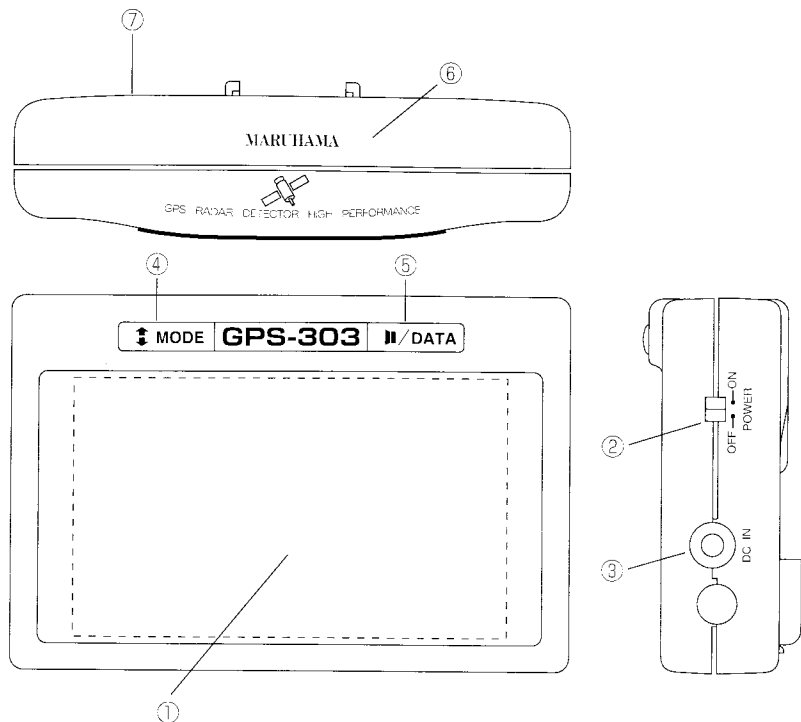
### ■トンネル出口警告機能（ボイス警告）

トンネル出口付近に設置されているオービスに対し、入口付近で音声でお知らせします。

### ■多彩な情報を表示できる見やすい大型液晶ディスプレイ採用

### ■スピード表示／標高表示／時計表示等多彩な機能を満載

## 4. 各部の名称とはたらき



### ①LCDディスプレイ

各種動作モードや設定モードを表示します。(バックライト付)

### ②電源スイッチ (POWER)

本機の電源をON/OFFします。

### ③電源ジャック (DCIN)

付属のカー電源コードを接続します。

### ④モードスイッチ (MODE)

各種動作モードの画面切替。1.5秒以上の長押しで一般設定モード移行、設定後1.5秒以上の長押しで設定値確定。

### ⑤データスイッチ (DATA)

各種設定値の変更。1.5秒以上の長押しでオリジナルポイント設定モード移行。設定後1.5秒以上の長押しで設定値確定。

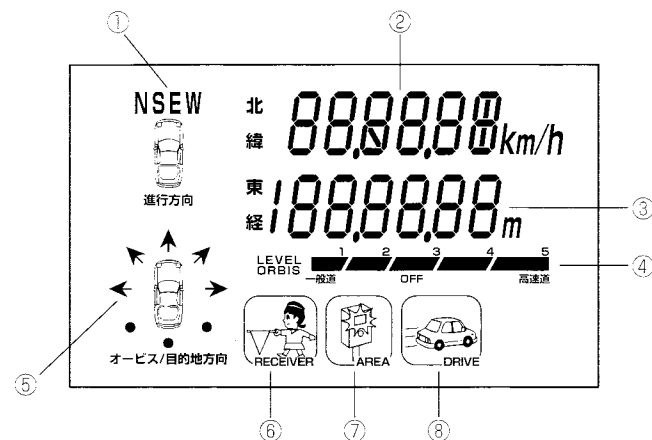
### ⑥GPSアンテナ部

人工衛星からのGPS電波を受信します。

### ⑦レーダーアンテナ部

レーダー波を受信します。

### 〈LCDディスプレイ部〉



### ①自車の進行方向表示

### ②スピード表示、座標表示 (北緯)

その他、機能表示、設定表示等

### ③標高表示、座標表示 (東経)、時計表示 (時、分、秒)、オービス/目的地までの距離

その他、機能表示、設定表示等

### ④レーダー受信感度レベル表示、オービス選択表示

### ⑤オービス方向や目的地方向表示

### ⑥受信マーク (RECEIVER)

レーダー、GPS以外の受信をすると点灯

### ⑦登録点接近マーク (AREA)

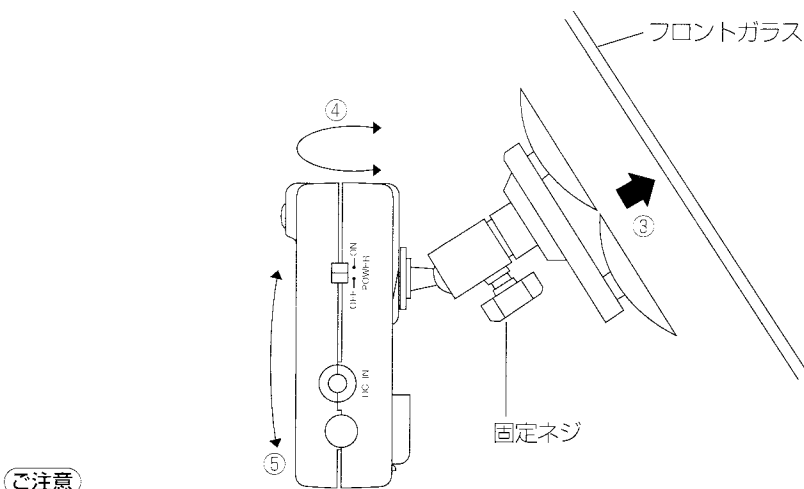
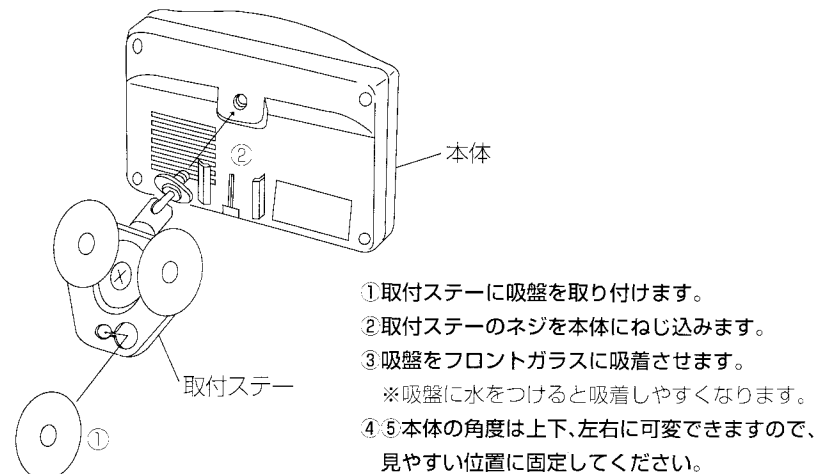
登録オービスや、オリジナルポイント登録点に接近すると点灯/点滅

### ⑧AACマーク (DRIVE)

AAC反応速度未満で消灯 (アラームカット)

AAC反応速度以上で点灯/点滅 (アラームON)

## 5. 取付方法

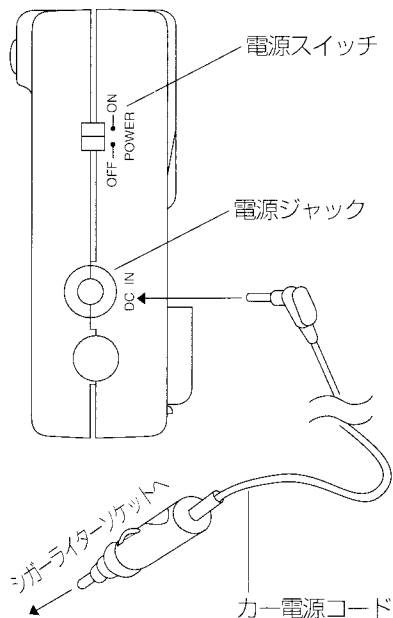
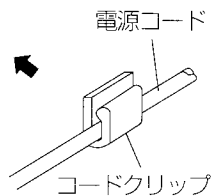


### ご注意

- レーダー波受信部やGPSアンテナ部に、金属やゴムなどの障害物がこない場所に取付けしてください。
- 天空の開いている場所に設置し、GPS電波を受信しやすいようにしてください。
- 運転の妨げにならない場所に取付けしてください。
- 取付けの際に、本体が落下しないようにしてください。

## 6. 電源の接続・配線

- ① 付属のカー電源コードにて接続します。
- ② 本体の電源スイッチはOFFにしておきます。
- ③ 電源コードのL型プラグ側を本体の電源ジャックに差し込み、電源プラグ側を車のシガーライターソケットに差し込みます。
- ④ 付属のコードクリップのはくり紙をはがし、配線する場所へ貼り付け、コードクリップの溝に電源コードをはさみ込んで固定します。



### ご注意

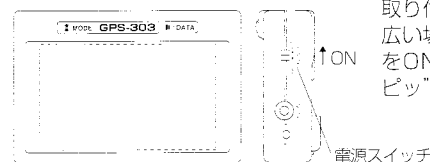
- シガーライターソケットが汚れていると、接触不良の原因となりますのでよく掃除をしてから取付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。
- 電源コードは絶対に途中で切断したり、折り曲げたり、束ねたりしないでください。ショート等により、本製品や車が破損する場合があります。
- 接続、配線は運転の支障のない安全な場所を選び、車のエンジンを切っておこなってください。

## 7. 使用方法（基本操作編）

本製品は最新のハイテク技術を採用していますので、多彩な機能を有しています。ここでは、購入してすぐ使用できる基本操作編とさらに便利に使用できる設定モード編にわけて説明します。

### 1. 操作方法

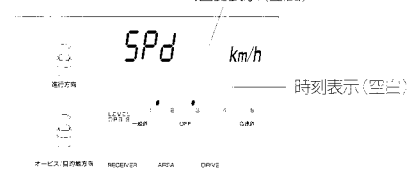
#### 1. 電源を入れます。



取り付けと配線が完了しましたら、視界の広い場所に車を駐車し本体の電源スイッチをONにします。ONにすると“ピッピッ”とアラームが3回鳴ります。

#### 2. GPS測位を開始します。

〈GPS測位中の表示画面例：速度/時刻表示画面（お買い上げ時）〉  
GPS測位中は、各画面の数値表示が空白になります。但し、衛星数表示は数字が点滅となります。（点灯で測位確定）  
速度表示（空白）



### ご注意

- 各画面の数値表示が空白のときはGPSによる警告はできません。
- 時刻表示が確定しても完全測位ではありません。

#### 3. GPS測位の確定を確認します。

数値が点灯すると、自動的に通常動作モードに入ります。

### ご注意

- GPS測位確定まで3分程度かかりますが、場合によっては長くなる場合があります。このような場合は、取り付け場所を変えるか天空の開いている場所に移動して、GPS電波を受信しやすくしてください。特に購入して初めて電源を入れたときや、長時間使用しなかったときは、確定するまで時間がかかる場合があります。

#### 4. 通常動作モードに入ります。

## 2. 通常動作モードの画面表示

通常動作モード時の画面表示はMODEボタンを押すことにより6種類の画面に切り替わります。



●MODEボタンを押す毎に下記の画面に変わります。

### ①衛星数/時刻表示画面



捕捉衛星数 捕捉衛星数が表示されます。(12個まで)  
時刻が表示されます。(時、分、秒)

#### 【ご注意】

●時刻は±0.5秒程度の誤差が出る場合があります。

### ②速度/時刻表示画面

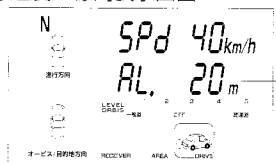
(※1)  
進行方向を示します。  
(この場合は北に向かって進行)



走行速度表示、時刻が表示されます。速度は255km/hまで表示できます。

(※1) 自転車進行方向表示は自転車位置確定後走行すると点灯します。北北東ですとN点滅、E点灯となります。

### ③速度/標高表示画面

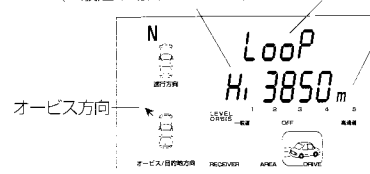


走行速度表示、標高が表示されます。

(※1) 捕捉衛星数が6個未満時は点滅表示。この場合、数値の信頼性は低くなります。参考程度としてお考えください。

### ④オービス表示画面

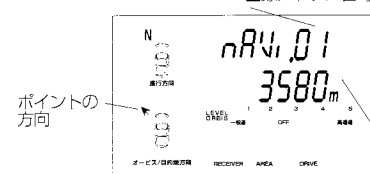
設置道路識別：高速道路  
(一般道の場合は表示ナシ)  
取締機の種別：ループコイル式  
(レーダー式の場合は r AdAr と表示)



オービスまでの距離  
現在位置から5km未満の最も近距離にあるオービス情報(方位、距離、取締機種別、設置道路の種別)を表示します。  
●オービスから5km以上のときは、FARと表示されます。

### ⑤ナビゲーション表示画面

登録アドレス番号



登録したナビポイントのアドレス、距離、方位を表示します。  
(設定モード編P45オリジナルポイント登録参照)

#### 【ご注意】

- ナビポイント登録点が見つからないときは、ナビゲーション表示画面はスキップされます。(お買い上げ時は登録されていません)
- ナビポイントが複数あるときは、MODEボタンを押す毎にアドレス番号の大きい順表示されます。この時MODEに1.5秒以上の長押しがあると次の座標表示画面になります。

### ⑥座標表示画面



現在位置の緯度、経度を表示します。

#### 【通常動作モード時の注意】

- 走行中、トンネルなどGPS電波を受信できなくなると、各画面の数値表示が空白になります。自転車位置の確定ができると再び数値が表示されます。ただし、衛星数表示はGPS未測位時、数字の点滅となります。
- 再度、電源を入れたときは、自転車位置が確定時OFFする前の画面が最初に表示されます。
- "DATA" ボタンを押しながら"MODE" ボタンを短押しすると画面が逆方向に変化します。



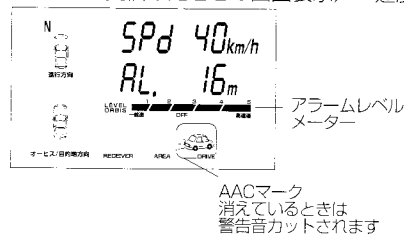
### 3. レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は、警告音およびアラームレベルメーターによりレーダー波の受信をお知らせします。レーダー波が強くなる（発信源に近づく）につれて、警告音、アラームレベルメーターが変化します。ステルス波を受信した場合、通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
警告音 (※1)	“ボーン”とプリトーンが鳴り、継続してレーダー波を受信すると、警告音が鳴ります。電波が強くなるにつれて鳴る間隔が短くなります。	強い電波を受信したとき鳴ります。
アラームレベルメーター	電波が強くなるにつれて段階的にメーターの数が多くなります。電波が最強になると流れるように点灯します。	流れるように点灯します。

(※1) 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は通常 (bELL 4)、ステルス (bELL 5) に設定。

〈レーダー波を受信したときの画面表示〉…速度/標高画面を見ている場合



#### ご注意

- 走行速度が40km/h未満のときはレーダー波を受信しても警告音はカットされます。(AACマークが消えているとき)  
AAC速度は変更することができます。  
(設定モード編P32一般設定モード〈AAC反応速度を変更したいとき〉参照)
- 本製品はステルス取り締まりに対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス専用アラームが鳴る場合があります。
- 前方に走行中の車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断されるため、レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。
- 電波式の自動ドア、信号機付近に設置されている車両通過計測器などは取り締まりレーダー波と同じ種類の電波が使用されています。そのため、これらの機器周辺でレーダー探知機が反応するのは避けられません。

### 4. オービス登録位置に接近すると

本製品にあらかじめ登録されているオービスに近づくと、警告音および表示でお知らせします。

- 時速80km/h以上で登録点に近づくと…  
約1200m (※1のオービス反応距離の1.5倍) 手前で警告音 (※2) が鳴ります。
- 時速40km/h (※3: AAC速度) ~80km/h未満で登録点に近づくと…  
約800m (※1: オービス反応距離) 手前で警告音が鳴ります。

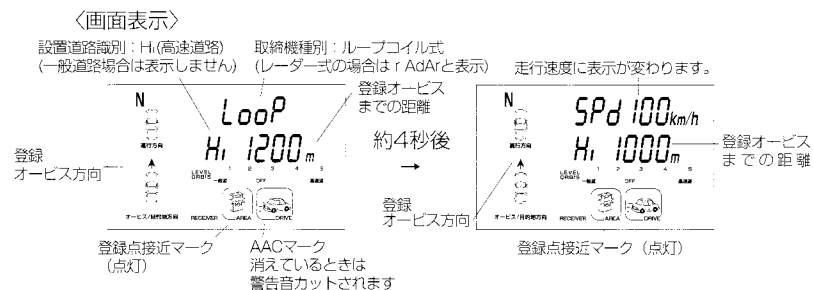
#### GPS警告例 (お買い上げ時の設定)

例として時速80km/h以上で高速道路のループコイル式取締機に近づいたときは…

①約1200m手前

音声と表示で警告します。

“高速道路ループ式オービスに注意してください。” のくり返し

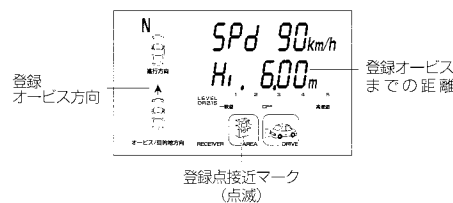


②約600m手前 (①の1/2の距離)

音声と表示で警告します。

“高速道路ループ式オービスに接近しました。” のくり返し

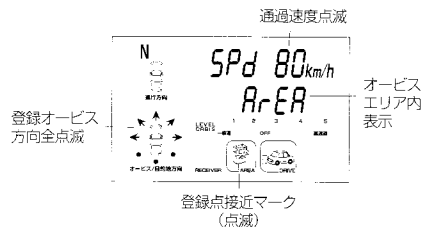
#### 〈画面表示〉



③約200m手前

音声と表示で警告します。通過速度が約4秒間点滅します。  
“危険です。”のくり返し

〈画面表示〉



**トンネル出口警告 (ボイス警告)**

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警告できませんでしたが、トンネル手前約200mで、出口付近のオービスをボイスで警告します。

〈例〉“トンネル出口の高速道路 (一般道路)、ループ式 (レーダー式) オービスに注意してください。”

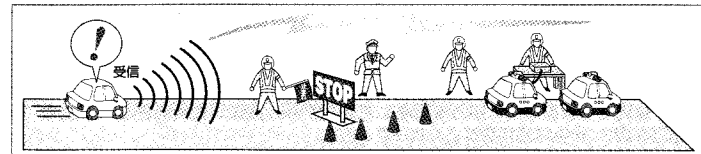
**ご注意**

- オービス登録点の警告はGPS電波を受信していないと動作しません。一般にトンネル、森林の多い山間部、高層建築物の近く、高架道路の下などはGPS電波を受信しにくいことがあります。
- オービス登録点は常に最新データを登録しておりますが、諸般の事情により万一、位置ズレ、新設・廃止等による位置データの異差が生じた場合は、お手数ですが、お客様ご自身によるオリジナルポイント登録で対応していただき、安全運転されることをお願い申し上げます。
- 高速道と一般道が接近し、互いに接近した位置にオービスが設置されている場合は、高速道と一般道の区別がつかないことがあります。この場合、ボイス警告では“高速道、一般道”と両方をアナウンスします。このような事を防ぐには、オービス反応対象を自分が走行している道路に合わせてください。  
(設定モード編P23一般設定モード〈登録されているオービスを区別し、警告をカットしたいとき〉参照)
- (※1) オービス反応距離は変更することができます。(設定モード編P26一般設定モード〈登録オービスの反応距離を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は800mに設定。
- (※2) 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は“ボイス”に設定。
- (※3) AAC速度は変更することができます。(設定モード編P32一般設定モード〈AAC速度を変更したいとき〉参照) お買い上げ時は40km/hに設定。

5. その他の受信機能 (レシーバー)

本製品はGPS、レーダー以外の受信機能を有しています。各種受信機能は設定モードでON/OFFの切り替えができます。(設定モード編、一般設定モード〈受信機能の設定をします〉参照)

**トラップゲート・モードとは…**



ある条件が合うとフラッシュと専用アラームで周囲で取り締まり(検問等)が行われている可能性が高いことを知らせる事で、すみやかに停車できるよう事前に速度を落とし、追突事故等の発生を防ぎます。

〈画面表示〉



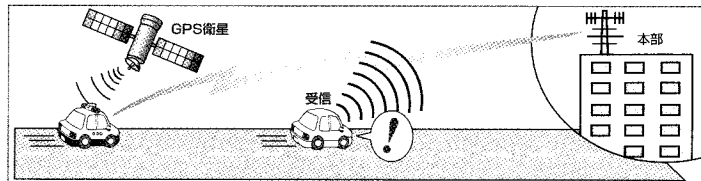
**お買い上げ時の設定**

受信機能:ON、警告音:アラーム

**ご注意**

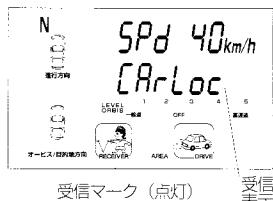
- カーロケーター/デジタルロケーター/ポリロケーターの受信機能はONに設定してください。(お買い上げ時はONに設定)
- 警告しても必ず取り締まりが行われているとは限りません。また逆に電波状況により警告しなくても取り締まりが行われている場合もあります。

**カーロケーター・モードとは…**



カーロケーターシステムとは「無線自動車動態表示システム」のことで、緊急車両の位置データをGPSにより算出し、無線で定期的に本部に送信するシステムです。カーロケーター・モードはこの送信電波を受信することで、緊急車両の接近をお知らせすることができます。さらに、緊急車両の接近/離反の識別機能搭載ですので、いち早く進路を譲り、安全な走行をすることができます。

〈画面表示〉



**お買い上げ時の設定**

受信機能:ON、警告音:ボイス

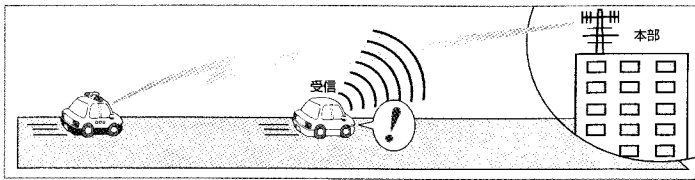
〈受信時〉“カーロケをキャッチしました”

〈離反時〉“カーロケが遠ざかりました”

**ご注意**

- カーロケーターシステムは全地域、全車両に導入されているわけではありません。また常時車両から電波を出していません。
- 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照)

デジタルロケター・モードとは…



緊急車両で使用されているデジタル無線を受信します。カーロケターシステムが導入、搭載されていない地域、車両でも緊急車両の接近を警告します。さらに、接近／離反の識別機能搭載ですので、いち早く進路を譲り、安全な走行をすることができます。

〈画面表示〉



受信すると表示します

受信マーク (点灯)

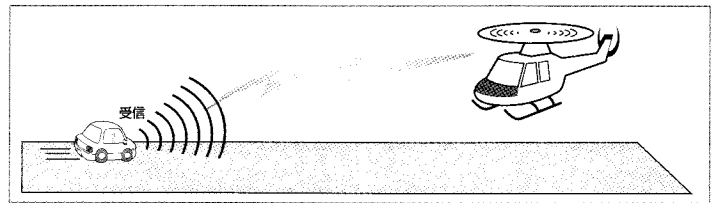
お買い上げ時の設定

受信機能:ON、警告音:ボイス  
 〈受信時〉“デジタル無線をキャッチしました”  
 〈離反時〉“デジタル無線が遠ざかりました”

ご注意

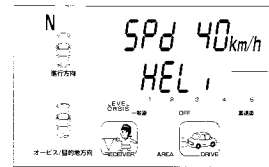
- 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照)

ヘリテレロケター・モードとは…



ヘリコプターによる取締連絡無線を生音声で聞くことができます。

〈画面表示〉



受信すると表示します

受信マーク (点灯)

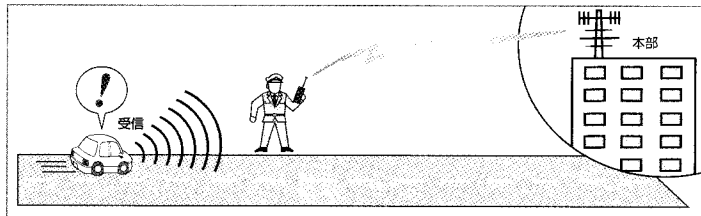
お買い上げ時の設定

受信機能:OFF、警告音:ボイス  
 〈受信時〉“ヘリテレ無線をキャッチしました”  
 〈離反時〉“ヘリテレ無線が遠ざかりました”

ご注意

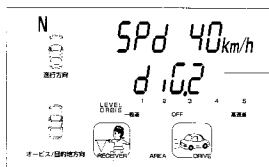
- 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照)

ポリロケター・モードとは…



パトロール中の警察官と警察署との連絡用に使用している「署活系」無線を受信します。さらに接近／離反の識別機能搭載です。

〈画面表示〉



受信すると表示します

受信マーク (点灯)

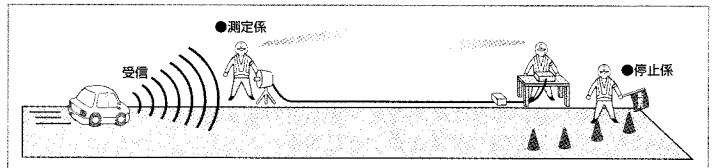
お買い上げ時の設定

受信機能:ON、警告音:ボイス  
 〈受信時〉“デジタル無線をキャッチしました”  
 〈離反時〉“デジタル無線が遠ざかりました”

ご注意

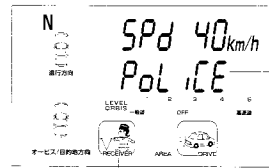
- 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照)

取締連絡無線 (350.1MHz) とは…



速度取締現場で測定係と停止係の間で使用している無線を生音声で聞くことができます。

〈画面表示〉



受信すると表示します

受信マーク (点灯)

お買い上げ時の設定

受信機能:OFF、警告音:ボイス  
 〈受信時〉“取締連絡波をキャッチしました”  
 〈離反時〉“取締連絡波が遠ざかりました”

ご注意

- 警告音は変更することができます。(設定モード編P41一般設定モード〈警告音を変更したいとき〉参照)

## 6. ゴースト・アラームカット機能

自動ドア等、レーダー波が発射されているエリアを通過すると、位置情報を記憶し次回通過時にはアラームをカットします。

### ご注意

- お買い上げ時機能はOFFに設定されています。機能をONにするには設定モード編P34一般設定モード〈ゴースト・アラームカットの動作設定をします〉を参照してください。
- 2回目通過時にレーダー波が発射されていなければ位置情報は消去されます。
- 位置情報は約1ヶ月で順次消去されます。(最後に通過した時から)
- アラームカットされた自動ドア付近で実際に取り締まり(ねずみ捕り)が行なわれた場合、取り締まりレーダー波もカットされる場合がありますので注意してください。
- 実際に取り締まり(ねずみ捕り)に遭遇し、次回通過時も取り締まりが行なわれていた場合、アラームカットされますので注意してください。但し、1ヶ月以上経過してから走行した場合はカットされません。
- GPS測位していないときは、ゴースト・アラームカット機能は動きません。

## 7. オートミュート機能

GPS警告音およびレーダー警告音は一定時間経過すると音量が小さくなります。

## 8. ミュート機能

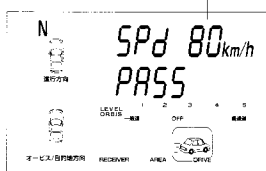
- 警告音が不要になった場合は、“DATA” ボタンを短く押すと、音がカットされます。
- 警告音がミュートされているとき、“DATA” ボタンを短く押すとミュートが解除され、警告音が鳴ります。

## 9. ラスト速度機能

本製品は最後に通過した登録オービス手前約200mの通過速度を表示できます。オービスを通過しない場合は最高速度が表示されます。

- “DATA” ボタンを短く押すと表示されます。

ラスト速度表示



### ご注意

- 一度電源をOFFすると以前の情報は消えます。
- ラスト速度を確認する場合は、警告音が鳴っていないときに行ってください。

## 10. 警告音の優先順位

本製品は複数の電波を同時受信した場合、警告音に優先順位を設けてあります。

1. 取締連絡波 (350.1MHz) またはヘリテロケーター (ただし警告音を“PHonE:生音声”としたとき)
2. レーダー波
3. トンネル出口警告
4. オリジナルポイント (“Sound on” 選択時)
5. オービス登録点
6. トラップゲート・モード
7. カーロケーター
8. 取締連絡波 (生音声以外)
9. デジタルロケーター
10. ポリロケーター
11. ヘリテロケーター (生音声以外)

### ご注意

- オリジナルポイント (“Sound OFF”) 反応圏内で2~5が発生した場合、オリジナルポイント (“Sound OFF”) を優先します。
- レーダー式オービス登録点に接近した場合、レーダー波を優先するため、GPSの警告が途中で切れる場合があります。

# 8. 使用方法 (設定モード編)

本製品は通常動作モードの他に多彩な機能を使用できる設定モードがあります。

## 1. 動作モード表と動作モード移行表 (動作モード表)

動作モード	画面	主な動作	お買い上げ時
通常モード	衛星数/時刻表示	使用衛星数と現在時、分、秒を表示	●
	速度/時刻表示	走行速度と現在時、分、秒を表示	●
	速度/標高表示	走行速度と標高を表示	●
	オービス表示	現在位置から5km未満のオービス情報	●
	ナビゲーション表示	ナビポイントとアドレス、距離、方位を表示	—
	座標表示	現在位置の緯度、経度表示	●
	警告表示	接近したオービスの種別、道路種、距離、方位を表示。レーダー受信表示、レシーバー受信表示	●
一般設定モード	オービス選択	全モード/高速道モード/一般道モード/OFFの選択	ALL(全モード)
	オービス反応距離設定	400~2000m(設定幅:100m)	800m
	音量設定	1~5の5段階	3
	レーダー感度設定	n(ノーマル)/S(スーパー)/U(ウルトラ)/E(エクストラ)/OFF	E(エクストラ)
	AAC反応速度設定	0~80km/h(設定幅:10km/h)	40km/h
	ゴーストアラームカット設定	不要レーダー波の自動キャンセラー設定	OFF
	振動センサー設定	センサー感度1~5の5段階	3
	受信機能の設定	サブメニューに移行、機能のON/OFF設定	P39
	警告音選択	サブメニューに移行、警告音の選択	P42
	リセット	一般設定モードをお買い上げ時に戻す	—
オリジナルポイント(ユーザー)設定モード	アドレス指定	登録アドレス指定	01
	属性設定	警報許可/警報不許可/ナビポイント/未登録	未登録
	反応距離設定	400~2000m(設定幅:100m)	800m
	警告音選択	オリジナルポイントの警告音の選択	ボイス
	緯度/経度設定	設定位置入力(何もしなければ現在位置)	—
	リセット	ユーザー登録をオールクリアする	—

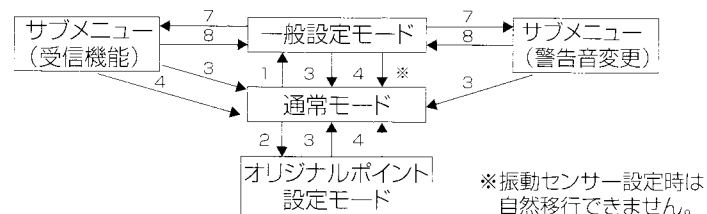
### ⚠ 警告

- 設定は、必ず停車中にパーキングブレーキをかけて行ってください。

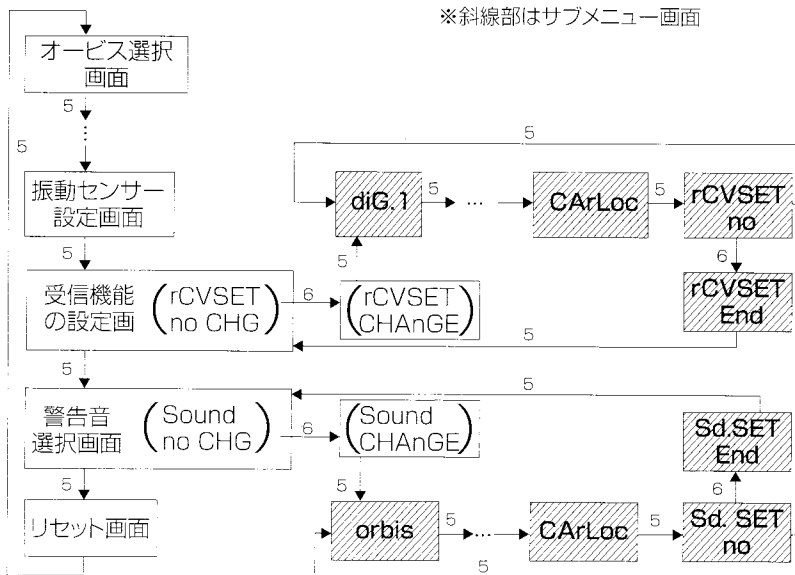
## 〈動作モード移行表〉

各種動作モードに移行する表です。詳しい操作・設定方法は後述の各動作の説明を参照してください。

移行番号	操作方法(移行条件)
1	MODEボタンを1.5秒以上長押し
2	DATAボタンを1.5秒以上長押し
3	MODEボタン又はDATAボタンを1.5秒以上長押し(設定値有効)
4	20秒間の無操作(自然移行、設定値無効)
5	MODEボタンを短押し
6	DATAボタンを短押し
7	“CHAnGE”指定でMODEボタン短押し
8	サブメニュー終了画面時、“End”指定でMODEボタン短押し



## ●一般設定モードの動作の流れ

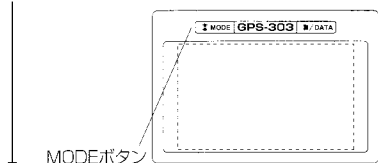


## 2. 一般設定モードの設定方法

### 〈登録されているオービスを区別し、警告をカットしたいとき〉

本製品はあらかじめオービスポイントが登録されていますが、(全ポイント反応する／高速道路のみ反応する／一般道のみ反応する／全く反応しない)の4つのモードを選択できますので、オービスを区別して不要な警告をカットすることができます。

#### 1. MODEボタンを1.5秒以上押します。



#### 2. 一般設定モードになります。

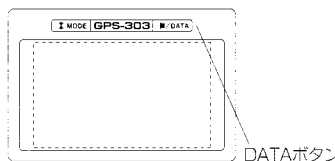
#### 3. オービス選択画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、オービス選択画面にしてください。

“DATA” ボタンを押しながら“MODE” ボタンを短く押すと選択画面が逆方向に変化します。このとき“DATA” ボタンを1.5秒以上押してから“MODE” ボタンを押しても操作無効になり、設定が確定されてしまい通常動作モードに戻ってしまいますので、操作は速やかに行なってください。

#### 4. 警告オービスを区別します。



“DATA” ボタンを短く押す度に区別表示が

ALL → HI → LO → OFF

と切り替わりますので選択してください。

- “ALL” を選択すると登録されたすべてのオービスに反応します。(お買い上げ時はALLになっています。)
- “HI” を選択すると高速道路のみ反応します(※1)
- “LO” を選択すると一般道路のみ反応します。

- “OFF” を選択すると全てに反応しません。(レーダー探知機/レーザーの機能のみになります。但し、オリジナルポイント登録は反応します)

“MODE” ボタンを押しながら“DATA” ボタンを短く押すと設定値が逆方向に変化します。このとき“MODE” ボタンを1.5秒以上押してから“DATA” ボタンを押しても操作無効になり、設定が確定されてしまい通常動作モードに戻ってしまいますので、操作は速やかに行なってください。

#### 5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し終了する場合は

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

通常動作モード

#### 6. 他の一般設定画面にします

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

#### 7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

##### ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。

#### 8. 通常動作モード

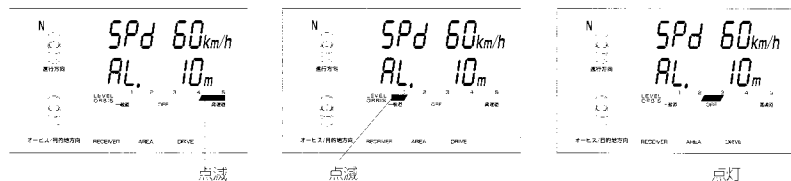
(※1) 本製品では高速道路の指定は下記としてあります。

道央自動車道	東名阪自動車道
東北自動車道	名神高速道路
秋田自動車道	近畿自動車道
山形自動車道	阪和自動車道
常磐自動車道	阪神高速道路
館山自動車道	第2 神明道路
千葉東金自動車道	神戸淡路鳴戸自動車道
東関東自動車道	中国自動車道
関越自動車道	山陽自動車道
上信越自動車道	米子自動車道
首都高速道路	浜田自動車道
横浜横須賀道路	高松自動車道
東京外環自動車道	松山自動車道
中央自動車道	徳島自動車道
長野自動車道	高知自動車道
東名高速道路	福岡都市高速道路
東海北陸自動車道	九州自動車道
名古屋高速道路	大分自動車道
南知多道路	長崎自動車道
能登有料道路	宮崎自動車道
北陸自動車道	沖縄自動車道

### ご注意

- オービス選択画面で高速道路のみ（Hi）を選択した場合、時速80km/h未満のときはGPSによる警告はカットされますので注意してください。  
但し、AAC反応速度を0 km/hとしたときは設定速度に関係なく反応します。
- オービス選択画面で“ALL”以外を選択した場合、通常動作モードでの画面表示は下記ようになります。

高速道路のみを選択しているときの表示      一般道のみを選択しているときの表示      “OFF”を選択しているときの表示

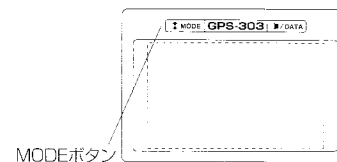


- レーダー波を受信したときは、バーグラフは自動的に受信レベルメーターになります。

### 【登録オービスの反応距離を変更したいとき】

本製品にあらかじめ登録されているオービス点の反応距離を変更することができます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押しします。



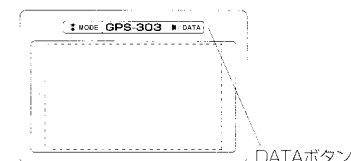
2. 一般設定モードになります。

3. オービス反応距離設定画面にします。

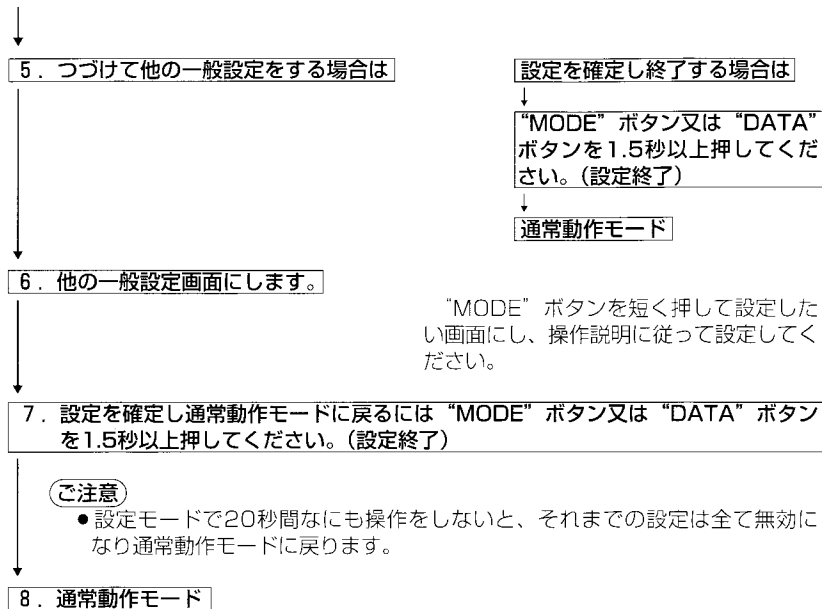


“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、オービス反応距離設定画面にしてください。

4. 反応距離を設定します。

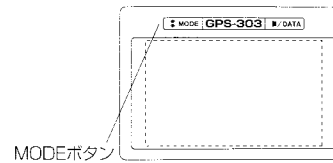


“DATA” ボタンを短く押す度に反応距離が100m単位で400m～2000mまで変化しますので、設定したい距離に合えます。  
(お買い上げ時は800mに設定)



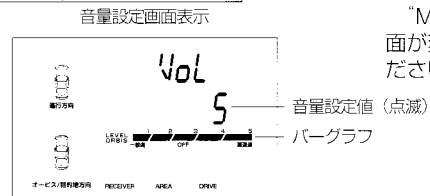
＜音量の調節＞…音の大きさを5段階に調節できます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押しします。



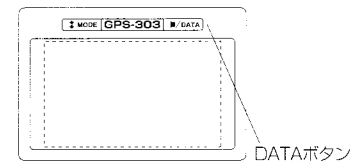
2. 一般設定モードになります。

3. 音量設定画面にします。

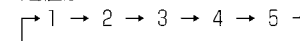


“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので音量設定画面にしてください。

4. 音量を調節します。

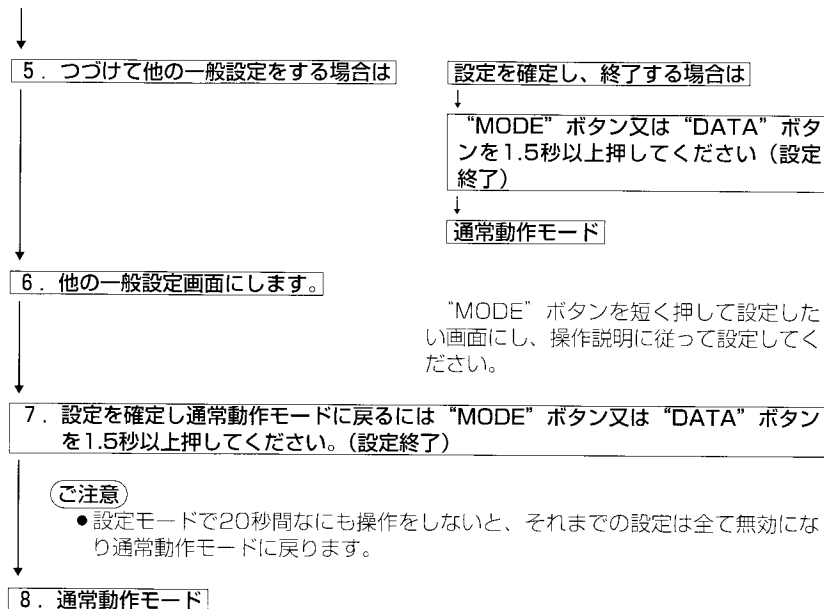


“DATA” ボタンを短く押す度に音量設定値が



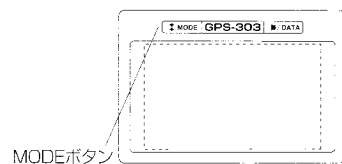
と切り替えますので希望する音量値に合わせてください。  
このとき、下のバーグラフも音量値と同じ数だけ表示します。  
(お買い上げ時は3に設定)





〈レーダーの受信感度を設定します〉…受信感度を5段階に調節できます。  
 受信感度はn（ノーマル）／S（スーパー）／U（ウルトラ）／E（エクストラ）／OFFの5ポジションあり、走行状況にあわせ選択してください。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。



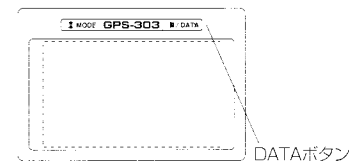
2. 一般設定モードになります。

3. レーダー感度設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでレーダー感度設定画面にしてください。

4. 受信感度の設定をします。

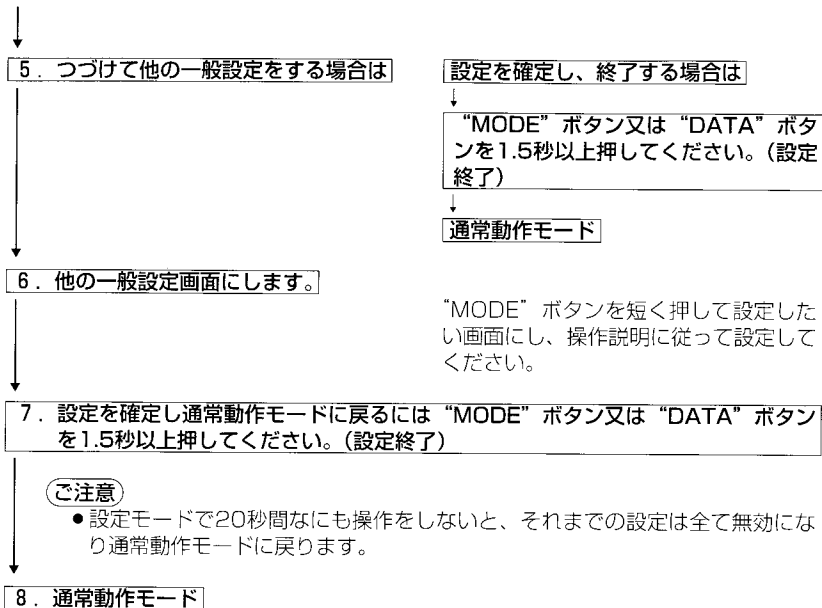


“DATA” ボタンを短く押す度に受信感度表示が

→ n → S → U → E → OFF

と変化しますので、希望する感度に設定してください。このとき下のバーグラフも対応して変化します。

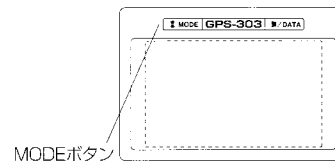
- n（ノーマル）を選択するとアラーム感度が低くなります。
- S（スーパー）を選択するとアラーム感度がn（ノーマル）より敏感になります。
- U（ウルトラ）を選択するとアラーム感度が高くなります。
- E（エクストラ）を選択するとアラーム感度がU（ウルトラ）よりやや敏感になります。（お買い上げ時の設定です）
- OFFを選択するとレーダー受信機能を停止させ、GPS／レーダーによる警告のみとなりますので注意が必要です。



### <AAC (オートアラームカット) の反応速度を変更したいとき>

本製品は低速走行、停車時に警告音をカットするAAC (オートアラームカット) を有しています。また速度設定も0 km/h～80km/hまで変更することができます。(設定幅10km/h)

1. MODEボタンを1.5秒以上押しします。

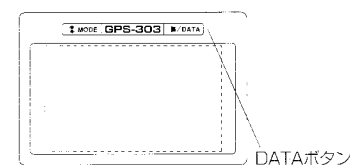


2. 一般設定モードになります。

3. AAC反応速度設定画面にします。



4. 速度の設定をします。



5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確認し、終了する場合は

↓

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

↓

通常動作モード

“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでAAC反応速度設定画面にしてください。

“DATA” ボタンを短く押す度に速度表示が10km/h単位で0～80km/hまで変化しますので設定したい速度に合わせます。(お買い上げ時は40km/hに設定)

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには “MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

● AACの動作確認

(1) GPS測位 (自車位置確定) 時は…

AAC設定速度未満のときGPS警告音、レーダー波警告音はカットされ、AACマークが消灯します。  
AAC設定速度以上になるとAACマークが点灯し、警告音はカットされません。

(2) GPS未測位 (衛星表示画面) 時は…

GPS電波を受信できないときは、自動的に振動センサーに切り替わり、車の振動により走行、停車を判別し警告音をカットします。  
あらかじめ、振動センサー感度の設定をする必要があります。設定方法はP36振動センサーの感度設定方法を参照してください。

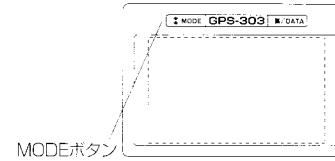
【ご注意】

- 受信機能 (レシーバー) はAAC設定に関係なく警告します。

【ゴースト・アラームカットの動作設定をします】

自動ドア等、レーダー波が発射されているエリアを通過すると、位置情報を記憶し、次回通過時にはアラームをカットします。今まで不快な自動ドア等によるアラームをめんどうな操作なしに自動的にキャンセルできます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。



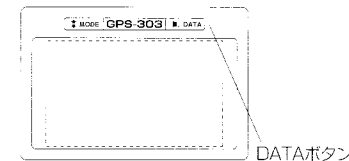
2. 一般設定モードになります。

3. ゴースト・アラームカット設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、ゴースト・アラームカット設定画面にしてください。

4. ON/OFFの設定をします。



“DATA” ボタンを短く押す度に OFF ↔ ON が切り替わりますので、指定してください。

- “ON” にすると受信機能が働きます。
- “OFF” にすると受信機能は停止します。(お買い上げ時はOFFに設定)

5. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し、終了する場合は

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

【通常動作モード】

【ご注意】

- GPS測位していないときは、ゴースト・アラームカット機能は動きません。

6. 他の一般設定画面にします。

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

7. 設定を確定し通常動作モードに戻るには“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。(設定終了)

**ご注意**

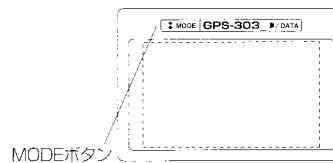
- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。

8. 通常動作モード

**〈振動センサー感度を設定します〉…5段階の設定ができます。**

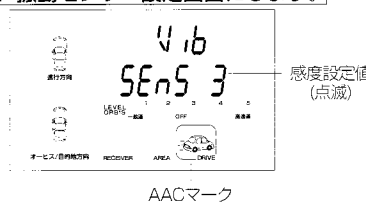
本製品は低速走行時に警告音をカットするAAC（オートアラームカット）を有していますが、GPS電波を受信できない場合は自動的に振動センサーに切り替え車の振動を感知し、走行、停車を判別します。車の振動に応じて振動センサーの感度を設定してください。

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。



2. 一般設定モードになります。

3. 振動センサー設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので振動センサー設定画面にしてください。

4. 感度の設定をします。



“DATA” ボタンを短く押す度に感度設定値が

→ 1 → 2 → 3 → 4 → 5

と切り替えますので指定してください。

- 感度は数値が大きくなると“低く”なりますので注意してください。  
(お買い上げ時は“3”に設定)

## 5. 振動センサーの動作確認

- 1 エンジンを始動し、車をアイドリング状態にします。  
AACマークが消灯していることを確認してください。
- 2 車を走行させます。  
AACマークが消灯から点滅に変わることを確認してください。  
※正常に動作しない場合は振動センサーの感度を変更してください。  
※アイドリング状態で消灯しない場合は感度を低く（設定数値を大きく）してください。  
※走行しても点滅しない場合は感度を高く（設定数値を小さく）してください。

### ご注意

- 振動センサー感度を変更しても正常に動作しないときは、本製品の取り付け場所を変えてください。
- この設定では20秒間無操作による自然移行はありません。

## 6. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確定し、終了する場合は

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

通常動作モード

“MODE” ボタンを短く押して設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

## 7. 他の一般設定画面にします。

8. 設定を終了し通常動作モードに戻るには “MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押してください。（設定終了）

### ご注意

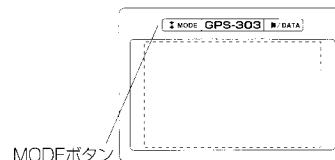
- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。ただし、振動センサー感度の設定時は自然移行ありません。

## 9. 通常動作モード

## <受信機能（レシーバー）の設定をします>

GPS、レーダー以外の受信機能のON/OFFが設定できます。

### 1. MODEボタンを1.5秒以上押します。



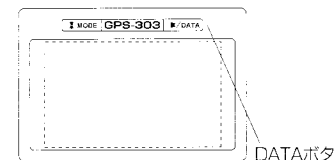
### 2. 一般設定モードになります。

### 3. 受信機能の設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、受信機能の設定画面にしてください。

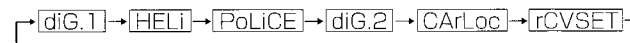
### 4. DATAボタンを短く押します。



“DATA” ボタンを短く押す度にno CHG ↔ CHAnGEが切り替わりますので、CHAnGEを選択してください。

### 5. 設定したい受信の種類を指定してください。

“MODE” ボタンを短く押すと、サブメニュー画面が表示され、さらにボタンを短く押す度に受信の種類が



と切り替わりますので、指定してください。

- diG1 : デジタルロケーター
- HELi : ヘリテロケーター
- PoLiCE : 取締連絡無線 (350.1MHz)
- diG2 : ポリロケーター
- CArLoc : カーロケーター
- rCVSET : 設定を終了し、つづけて他の一般設定をする場合は、ここで "DATA" ボタンを短く押しして "End" を選択し、"MODE" ボタンを短く押ししてください。

## 6. ON/OFFの設定をします。

"DATA" ボタンを短く押す度に ON↔OFFが切り替りますので、選択してください。

× モ

- 設定したい受信機能が複数ある場合は [5][6] を繰り返してください。

### お買い上げ時の設定

diG1	ON
HELi	OFF
PoLiCE	OFF
diG2	ON
CArLoc	ON

## 7. つづけて他の一般設定をする場合は

設定を確認し、終了する場合は

"MODE" ボタン又は "DATA" ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

通常動作モード

## 8. "rCVSET" の画面が表示されるまで "MODE" ボタンを短く押しします。

## 9. "DATA" ボタンを短く押しして "End" を選択します。

## 10. "MODE" ボタンを短く押しします。

受信機能の設定画面に戻ります。

## 11. 他の一般設定画面にします。

"MODE" ボタンを短く押しして設定したい画面にし、操作説明に従って設定してください。

12. 設定を確認し通常動作モードに戻るには "MODE" ボタン又は "DATA" ボタンを1.5秒以上押ししてください。(設定終了)

### ご注意

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。

## 13. 通常動作モード

〈カーロケーターの反応を抑えるには〉

市街地走行など、頻繁に警告音が鳴る場合、反応を鈍くすることができます。

### ●設定方法

- 1 "MODE" ボタンを押しながら電源を入れます。  
(液晶表示が全点滅します)
- 2 "MODE" ボタンは押し続けます。
- 3 液晶の全点滅が終了し通常表示に替わったら "MODE" ボタンを押すのをやめます。
- 4 設定終了

### ●お買い上げ時に戻すには

- 1 "DATA" ボタンを押しながら電源を入れます。  
(液晶表示が全点滅します)
- 2 "DATA" ボタンは押し続けます。
- 3 液晶の全点滅が終了し通常表示に替わったら "DATA" ボタンを押すのをやめます。
- 4 設定終了

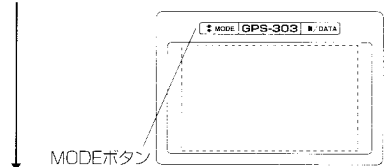
### ご注意

- 反応設定を元に戻すと、一般設定、オリジナルポイント設定は全てお買い上げ時の設定になってしまいますので注意が必要です。

＜警告音を変更したいとき＞

警告音は7種類の中から選択することができます。  
(ヘリテロローターと取締連絡無線は生音声受信の選択もできます。)

1. MODEボタンを1.5秒以上押します。



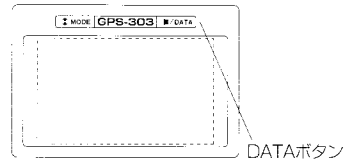
2. 一般設定モードになります。

3. 警告音選択画面にします。

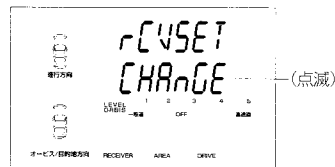


“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますので、警告音選択画面にしてください。

4. DATAボタンを短く押します。



“DATA” ボタンを短く押す度にno CHG ←→ CHAnGEが切り替りますので、CHAnGEを選択してください。



5. 変更したい受信の種類を指定してください。

“MODE” ボタンを短く押すと、サブメニュー画面が表示され、さらにボタンを短く押す度に受信の種類が



と切り替りますので、指定してください。

- orbiS : 登録済のオービス点
- rAdAr1 : レーダー波 (通常)
- rAdAr2 : レーダー波 (ステルス)
- diG.1 : デジタルローター
- HELi : ヘリテロローター
- PoLiCE : 取締連絡無線 (350.1MHz)
- diG.2 : ポリローター
- CARLoc : カーローター
- Sd.SET : 設定を終了し、つづけて他の一般設定をする場合は、ここで“DATA” ボタンを短く押して“End”を選択し、“MODE” ボタンを短く押ししてください。

6. 警告音を選択してください。

警告音は7種類ありますので、“DATA” ボタンで選択してください。  
(ヘリテロローターと取締連絡無線は生音声受信の選択もできます。)

警告音	受信の種類	オービス登録点	レーダー波(通常)	レーダー波(ステルス)	デジタルローター	ヘリテロローター	取締連絡無線	ポリローター	カーローター
		○	○	○	●	●	●	●	●
bELL1	アラーム1	○	○	○	●	●	●	●	●
bELL2	アラーム2	○	○	○	●	●	●	●	●
bELL3	アラーム3	○	○	○	●	●	●	●	●
bELL4	アラーム4	○	◎	○	●	●	●	●	●
bELL5	アラーム5	○	○	◎	●	●	●	●	●
bELL6	アラーム6	○	○	○	●	●	●	●	●
PHonE	生音声	×	×	×	×	○	○	×	×
Sound	ボイス	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎

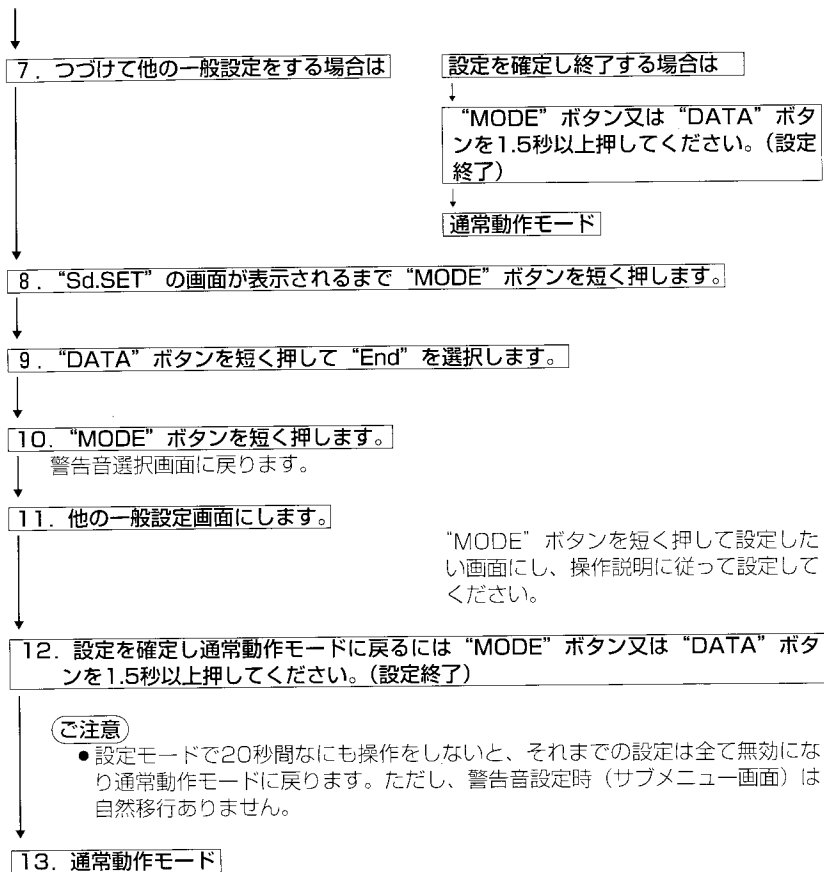
◎はお買い上げ時の設定  
○●は選択可能  
×は選択不可  
●は選択時の離反音は“ピー、ピッピッ”

【注意】

- オリジナルポイントの警告音の変更は設定時に行いますので、ここでは変更できません。
- [5][6] の設定時では20秒間無操作による自然移行はありません。

× モ

● 変更したい警告音が複数ある場合は [5][6] を繰り返し行ってください。



〈一般設定モードを全て初期状態にもどす〉…

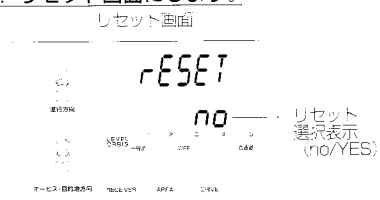
一般設定モードを初期状態（お買い上げ時）に戻すことができます。

1. MODEボタンを1.5秒以上押しします。



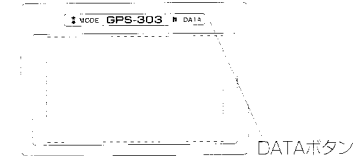
2. 一般設定モードになります。

3. リセット画面にします。



“MODE” ボタンを短く押す度に選択画面が変わりますのでリセット画面にしてください。

4. リセット（初期状態）します。



“DATA” ボタンを短く押す度に no ↔ YES が切り替わりますのでリセットする場合は YES を指定してください。

5. “MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押ししてください。

**ご注意**

- 20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。

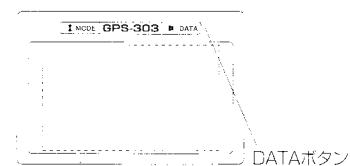
6. 通常動作モード（リセット完了）



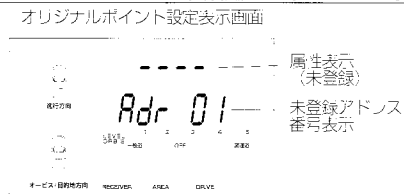
### 3. オリジナルポイント（ユーザー）設定モードの設定方法

本製品はあらかじめ登録してあるオービス位置の他に30ポイント任意に登録することができます。新設等で本製品に入力されていないオービス位置や目的地登録をすれば、あなただけのオリジナルポイントがメモリーできます。また登録点は警告音の“ON”“OFF”を設定できます。警告音“OFF”設定の場合、レーダー波もカットしますので、自動ドア等の不要な電波も完全にキャンセルできます。さらに“ナビポイント登録”すれば目的地まで誘導してくれるナビゲーションとしても使用できます。

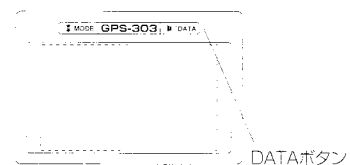
#### 1. DATAボタンを1.5秒以上押します。



#### 2. オリジナルポイント設定モードになります。



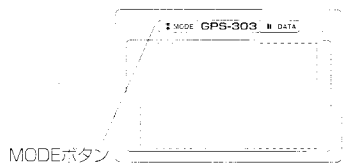
#### 3. 登録アドレスを指定します。



“DATA” ボタンを短く押しして登録する場所を決めます。  
“DATA” ボタンを押す度に点滅している登録アドレス番号が01～100まで変化しますので登録する場所を決めてください。

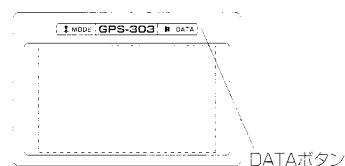
- 登録済みのメモリーがある時は、未登録のアドレス番号の内、最も若い番号を表示します。
- “MODE” ボタンを押しながら “DATA” ボタンを短く押すと逆方向に変化します。

#### 4. 属性設定画面にします。



“MODE” ボタンを短く押すとアドレス番号の上に表示が点滅します。  
ここで登録点の警告音の“ON”“OFF”“ナビポイント”“未登録”を決めます。

#### 5. 属性を設定します。



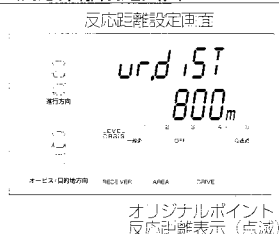
“DATA” ボタンを短く押す度に属性表示が  
→ (----) → (SPon) → (SPoFF) → (nAVi.P) と切り替えますので選択してください。

- “----” を選択すると未登録の指定になります。  
〈登録済のメモリーを個別消去したい場合はここを選択して“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押しして設定モードを終了してください。〉
- “SPon” を選択すると登録ポイントで警告音が発せられます。
- “SPoFF” を選択すると登録ポイントで警告音がカットされます。  
〈自動ドア等の不要電波をキャンセルする場合に便利です。〉
- “nAVi.P” を選択すると登録点まで誘導してくれるナビゲーションシステムになります。

#### 6. MODEボタンを短く押します。

#### 7. SP onを選択した場合は SP OFFを選択した場合は nAVi.Pを選択した場合は

#### 8. 反応距離設定画面になります。



“DATA” ボタンを短く押す度にオリジナルポイント反応距離表示が100m単位で400～2000mまで変化しますので設定したい距離にあわせてください。(お買い上げ時は800mに設定)

- nAVi.Pを選択した場合は緯度/経度設定画面になります。

#### 9. MODEボタンを短く押します。

#### 10. 警告音選択画面になります。



- 緯度/経度設定画面になります。

“DATA” ボタンを短く押す度に警告音選択表示が変化しますので、選択してください。警告音は7種類あります。(P42参照) お買い上げ時は“Sound (ボイス)”に設定。

11. MODEボタンを短く押します。

12. 緯度/経度設定画面にします。



13. 緯度/経度を設定します。

- (1) 自転車位置が確定している時で、現在位置を登録する場合は…  
“北緯”と“東経”の表示が点灯していることを確認してオリジナルポイント設定モードを終了します。(北緯と東経が点灯していれば現在位置です)
- (2) “北緯”と“東経”があらかじめわかっている場合は…  
自転車位置の確定の有無にかかわらず、どこでも登録できます。

● 緯度、経度入力による登録方法

① MODEボタンを短く押す度に北緯の“度” → “分” → “秒” → 東経の“度” → “分” → “秒”の順で変化しますので順番に入力してください。

● DATAボタンを押しながらMODEボタンを短く押すと逆方向に変化させることができます。

② 入力は点滅しているところで“DATA”ボタンを短く押す度に数値が変化しますので希望の数値に合わせてください。

● MODEボタンを押しながらDATAボタンを短く押すと逆方向に数値を変化させることができます。

※このとき、画面の緯度、経度の文字は点滅し、現在位置ではないことを示します。

数値を変化させると点滅 (自転車位置確定しない時も点滅)



14. 登録モードを終了します。

“MODE” ボタン又は“DATA” ボタンを1.5秒以上押します。

【注意】

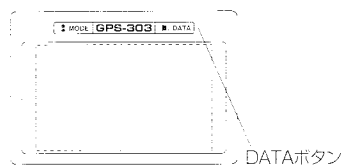
- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。ただし、警告音設定時は自然移行ありません。

15. 内容が確定され、通常動作モードになります。

〈登録した内容を全てクリアしたいときは〉…初期状態に戻します。

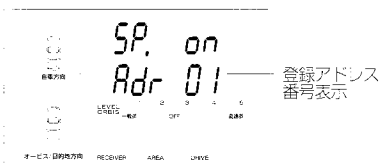
登録した内容を全て消去することができます。

1. DATAボタンを1.5秒以上押します。



2. オリジナルポイント設定モードになります。

オリジナルポイント設定表示画面



3. クリア画面にします。

クリア画面



“MODE” ボタンを短く押していくとクリア画面になります。



【ご注意】

- 未登録の場合はクリア画面は表示されません。

4. 内容をクリアします。

“DATA” ボタンを短く押す度にクリア設定表示が “no” ↔ YES と変わりますので “YES” を選択してください。

●クリアを中止する場合は “no” を選択するか、20秒間なにも操作をしないでください。

5. クリアを確認し、終了します。

“MODE” ボタン又は “DATA” ボタンを1.5秒以上押します。

【ご注意】

- 設定モードで20秒間なにも操作をしないと、それまでの設定は全て無効になり通常動作モードに戻ります。

6. 通常動作モードになります。

### 〈オリジナルポイント登録位置に接近すると〉

オリジナルポイント登録をした地点に近づくと、警告音および表示（方位、距離、アドレス）でお知らせします。

- 時速80km/h以上で登録点に近づくと…  
オリジナルポイント反応距離の1.5倍手前から警告音が鳴ります。
- AAC反応速度～80km/h未満で登録点に近づくと…  
オリジナルポイント反応距離から警告音が鳴ります。

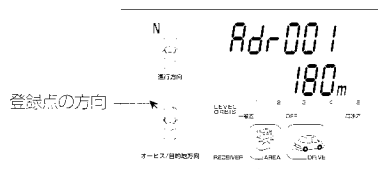
### 〈ご注意〉

- 登録点の警告はGSP電波を受信していないと動作しません。
- 走行速度がAAC反応速度未満の場合、警告音カットされます。  
AAC反応速度の設定方法はP32〈AACの反応速度を変更したいとき〉参照  
お買い上げ時は40km/hに設定。

### 〈登録位置に接近したときの画面表示〉

登録点が反応距離範囲に入ると自動的に警告表示画面に変わります。

登録点のアドレス番号表示



登録点接近マーク  
(点灯・点滅)

- 登録点の極近になると登録点の方向が全点滅になり、距離表示が“ArEA”表示になります。

### 〈ナビポイントの使い方〉…目的地まで誘導するナビゲーションシステム

属性設定で“nAVi.P”（ナビポイント）を設定した場合の使用方法。

#### 1. 通常動作モード時にナビゲーション表示画面にします。

- MODEボタンを短く押す度に、画面が変わりますので、下図のナビゲーション表示画面にしてください。



#### 2. ナビポイントが複数登録してある場合は、再度“MODE”ボタンを短く押すとアドレス番号の大きい順にナビポイントが表示されます。

#### 3. 目的のナビポイントを指定してください。

### 〈ご注意〉

- ナビポイント登録点があつもないときは、ナビゲーション表示画面はスキップされます。
- ナビポイントが複数登録してある場合、通常動作モードの他の画面に移行するときには、“MODE”ボタンを1.5秒以上押してください。
- ナビポイントの距離計算は、簡易計算により直線距離を算出しているため距離があまり長いと誤差がでます。数キロ以内の近距離では誤差は無視できます。
- 目的地までの距離は最大1,999,000m手前より表示できます。
- GPSによるオービス登録点やオリジナル登録点に接近すると自動的に警告画面に変わります。

## 9. 使用上のご注意

- 本製品はGPS電波が受信可能な場所に設置して下さい。また地理的状況などにより、GPS電波を受信しにくい時や、受信できない場所があります。(トンネルの中、高層ビルに囲まれた場所、高い樹木に囲まれた場所、2～3層の構造の道路の下など)
- オービスやオリジナルポイントの登録位置はいつも同位置を正確に再現するとは限りません。衛星軌道が時々刻々変化する事も影響し、測位日時により、20～30mのズレ(誤差)が生ずる事があります。
- 本製品はレーダー波を使用していないオービス取り締まり機(ループコイル式、LHシステム、光電管式)をGPS測位機能で検知、警告します。GPS電波を受信できない状況下では、レーダー/レシーバーのみの機能となります。
- 金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車はGPS電波を受信しにくい場合があります。
- オービス登録点は常に最新データを登録しておりますが、諸般の事情により万一、位置ズレ、新設・廃止等による位置データの異差が生じた場合は、お手数ですが、お客様ご自身によるオリジナルポイント登録で対応していただき、安全運転されることをお願い申し上げます。
- GPSレシーバーは非常に精密な部品によって構成されています。本体の熱が上昇すると最初の衛星が捕捉しにくくなり、自車位置確定に時間がかかります。場合によっては故障することもありますので、真夏など停車中にセットの温度が上昇する事が予想される場合は断熱シートをかぶせたり、温度の上がりにくい場所に本製品を移動してください。
- 本製品は電源をOFFとしてもGPS衛星軌道情報やラスト位置等がバックアップされます。次に電源をONとする場所がラスト位置と大きく異なると衛星捕捉に時間がかかり、自車位置確定までに時間がかかります。したがって、電源がOFFのまま、車両を移動することは好ましくありません。
- GPS測位が確定しない状態で高速走行をすると測位確定までに時間がかかる場合があります。確定しない場合は一度車を停車して確定完了後走行してください。
- 高速道路上に設置されているオービスの側道等を走行中も、GPSによる警告を発します。これは登録ポイントに近づいている為で誤作動ではありません。
- 本製品は日本国内で正常に動作します。日本以外の国ではGPS動作が保証外となります。またレーダー周波数が異なる場合があります。
- 本製品はGPSによる誤作動対策の“GPS対応”とは違います。
- 本製品を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけて下さい。
- 仕様および外観の一部を予告なく変更する場合があります。

## 10. 故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じた時は、故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の電源ジャックにしっかりと差し込まれていない。</li> <li>●シガーライターソケットの汚れによる接触不良(2～3回まわしながら差し込んでください)</li> <li>●シガーライターソケットに電源がきていない。(シガーライターを差し込んで赤熱することを確認してください)</li> <li>●シガーライタープラグのヒューズが切れている。(新しいヒューズと交換してください)</li> </ul>
取り締まり機に接近しても反応しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●GPS電波を受信していない。</li> <li>●本製品に登録されていないオービス、またはスピード取締機でないシステム(Nシステム等)である。(取締機で反応しない場合はオリジナルポイント登録をおすすめします)</li> <li>●取締準備中または終了後などでレーダー式取締機に電源が入っていない。</li> <li>●AACの反応速度設定が高すぎる(AACの反応速度を低くしてください)</li> </ul>
取り締まり機以外で反応する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響</li> </ul>
車のキーを抜いても電源が切れない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●車のキーを抜いてもシガーソケットの電源が切れない車があります。(長時間使用しない場合はプラグを抜いてください)</li> </ul>

# 11. 主な仕様

## 1.GPS部

項目	条件	規格	
受信部	受信周波数	1.57542GHz	
	追尾コード	C/Aコード	
	受信チャンネル	12チャンネル/パラレル	
メモリ	オービス登録点	登録数	約650箇所
		登録種類	レーダ、ループ
		反応対象	高速道、一般道、ALL.OFFから選択
	ユーザ登録点	最大登録数	30ポイント
	GAC登録点	設定属性	警報許可、警報不許可、ナビポイント
警報音	—	最大登録数	70ポイント
	—	音声合成もしくは6種類の鳴動音より選択	
	オービス登録点	選択音"bELL"時は接近距離に応じてピッチ変化	
		選択音"Sound"時は接近距離に応じて発音音変化	
ユーザ登録点	選択音"bELL"時は接近距離に応じてピッチ変化		

## 2.レーダー部

項目	条件	規格	
受信方式	—	ダブルスーパーヘテロダイナ	
受信周波数	Xバンド	10.525GHz	
	Kバンド	24.150GHz	
受信モード	EXTRA	感度高、応答性高	
	ULTRA	感度高、応答性標準	
	SUPER	感度標準、応答性高	
	NORMAL	感度標準、応答性標準	
	OFF	受信停止	
	受信感度	EXTRA	Xバンド
ULTRA		Kバンド	-90dBm以下
SUPER		Xバンド	-92dBm以下
NORMAL		Kバンド	-87dBm以下
受信警報	音	XK波	6種類の鳴動音より選択
		ステルス波	6種類の鳴動音より選択
	表示	5点バーグラフ	信号強度により点灯数、点灯パターン変化

## 3.レシーバー部

受信方式：ダブルスーパーヘテロダイナ、受信周波数：350.1MHz、407MHz帯、UHF帯、VHF帯

## 4.外観/一般

項目	規格	
サイズ	120W×81H×29.5D	
表示部	ディスプレイ	55×90 TNモノクロ透過型LCD
	バックライト	青色LED
スピーカ	φ36.インピーダンス8Ω.ダイナミック型	
操作部	前面	MODEボタン(タクトSW) DATAボタン(タクトSW)
	右側面	POWER ON/OFF SW(スライドSW)
	外部接続端子	電源 φ1.3電源ジャック
取り付けネジ	UNC1/4-20山 (スタンド取り付け用穴)	
重量	約200g	
環境	使用温度範囲	-10℃～+60℃
	保存温度範囲	-20℃～+70℃
電源	入力電圧	DC+12V～+24V
	消費電流	約200mA(DC+12V時)

# 保証規定

- 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に、正常な使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 保証期間中に修理を依頼される場合は、本機に保証書を添えて、お買い上げ販売店にお持ちください。
- 次のような場合には保証期間であっても有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、本機に改造を加えたことによる故障、またはお買い上げ店以外で修理されたことによる故障
  - (ロ) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障や損傷
  - (ハ) 火災、地震、水害、公害、規定外の電源（電圧・周波数）の使用、その他天災地変などによる故障および損傷
  - (ニ) 保証書のご提示がない場合
  - (ホ) 保証書の指定事項の未記入、あるいは字句が書き替えられている場合
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

## 修理メモ